

何かと

忙しい毎日の大切

です

たんざく新聞



十二月は何かと気が忙しい月ですが、今年も総選挙があり増々忙しめるような月になりそうです。

この所の政治家が政治屋か知りませんが、彼等の発言から行動が大きいスゴイのトップがどおりありたいと思いますが、本当にいい言動もんです。

政府どうかが野党といわれれば、党どうかが責任を押しつける人々の場の空気を盛り上げる人々の言動の発言としかおもえない言動

12.12.No186
発行所 福日社
責任 0883-88-5292

昨日、言った事に事と反対の事を今日言ったりしてきます。
それだけ、国民を軽くあしらっているとしてしかおれには感じられません。

目先の言動にどうあられず、しつかりとした政策がとれる人を選びたいものです。

それだけ、この十二月は、今後の日本の行く先を決めるかも知れない程、大切な月になるかも知れませんよ。

今までの私達は「進歩」という事だけを追い求め、東日本大震災で、少くは周囲に目を向けはじめ、この地球が暮らすには、どういう生き方をとらなければならないか、と考える人は少なくなっていると思います。

しかし、この糾弾を利用して、災害復興に名をかりて、何をしようか、信甲出来るのは、どの組織で、どの団体かがよくわかる中、支援という美名のもとに様々な事を聞きますが、その結果は、ほとんども不明なことが多いです。

世界遺産に指定されれば、どどと人が増える。イベル賞を受賞される毎日マスコミにとりあげると、どこか変化の似ていませんか。

イベル賞を受賞する前から、中山さんの業績には価値があったのでは無いのですか。

世界遺産等に指定されることも、素晴らしい場所を素晴らしいものに、それまでは、ほとんども観光として軽くあつかりしてしまっている。

こいつ、踊らされてるという事は、はいのびでしょうか。自分で判断せずに、他人まかせにするという点で、何かと似ています。

自分で選んで政府政治家にまかせをまかせた何もせず、世の中がよりよくなるように行動に出すべし、選挙は選挙の時だけ、いつまでか、軽くみられる国民になつてしまっています。

